【様式 02】高大連携公開講座シラバス

＊科目 No.	21202

１．開設大学	広島大学　理学部		開講場所 （キャンパス・施設）	東広島キャンパス	
２．科 目 名	重力波天文学入門				
	学問分野	番　　号	３２	名　　称	理学（物理）
３．担当教員	深沢泰司　理学研究科　実施責任者 小嶌康史　理学研究科 川端弘治　宇宙科学センター 植村誠　　宇宙科学センター 稲見華恵　宇宙科学センター 笹田真人　宇宙科学センター 中岡竜也　宇宙科学センター				
４．開講期間（曜日） 開講時間	平成 31 年 7 月 26 日（金） 10 時 00 分　～　16 時 00 分　（ 55 分×　5 回）				
個別開講日	1 回目 7/26	2 回目 ／	3 回目 ／	4 回目 ／	5 回目 ／	6 回目 ／
	7 回目 ／	8 回目 ／	9 回目 ／	10 回目 ／	11 回目 ／	12 回目 ／
５．募集定員	100 人					
６．科目内容・ 授業計画	アインシュタインが１００年ほど前に提唱した一般相対性理論は重力波を予言していました。そして、２０１５年９月に初めてブラックホール合体に伴う重力波が検出され、さらに２０１７年９月に中性子星合体に伴う重力波が検出され、重力波天文学が幕開けしました。本講座では、重力波天文学に関する入門的解説をできるだけ平易に行うとともに、広島大学での重力波天文学研究についても紹介する予定です。 10:00-10:15　イントロダクション　深沢泰司 10:15-11:10　重力波　小嶌康史 11:20-12:15　重力波天体：コンパクト連星　植村誠 13:05-14:00　重力波天体：超新星　川端弘治（中岡竜也） 14:10-15:05　重力波対応天体の探査：可視光　笹田真人（稲見華恵） 15:15-16:00　重力波対応天体の探査：ガンマ線　深沢泰司					
７．受 講 料	無料					
８．別途負担費用	（テキスト代・実習料等）					
９．開講条件※1 （あり）・ない	①　最少開講人数（　10　人）定員超過の不許可は選考により決定 ②　不許可・不開講通知日 （7 月 13 日（金）以前の開講科目は 3 月末まで／7 月 14 日（土）以降の開講科目は 6 月末まで）					
10．その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料･文献など特記すべきこと 東広島キャンパス理学部棟で開催、資料は当日配布予定 集合場所は、広島大学理学部棟正面入り口　朝９時３０分より					
11．開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学理学部 https://www.hiroshima-u.jp/sci/					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。